

たじみ議会だより

市民の声を形に



題字は、多治見市観光大使 杉浦誠司さんのめっせー字です！



今回の表紙

多治見工業高等学校デザイン科3年生の生徒さんが、課題研究で制作した壁画です。

「毎朝、壁の前を通る児童たちが明るい気持ちで登校できるように」という思いが込められています。

11月10日、多治見工業高等学校にて「おとどけセミナー」を開催しました。「18歳選挙権と議会について」をテーマに、議員が説明し、意見交換を行いました（16ページに特集記事を掲載しています）。

No. **206** 令和4年2月1日

INDEX

*令和3年の議会活動報告・・・2 P
*12月定例会おもな案件・・・3 P
*常任委員会審査概要・・・4～5 P

*12月定例会議決結果・3月定例会の予定・・・6 P
*市政一般質問に16人が登壇・・・7～15 P
*多治見工業高等学校でおとどけセミナーを開催しました・16 P

令和3年の議会活動

令和3年の市議会の活動状況についてお知らせします。

■委員会等の活動（委員会・研究会・協議会等の開催状況）

委 員 会 名		委 員 会		協 議 会	
		開催日数	会 議 時 間	開催日数	会 議 時 間
常 任	総 務	8	8時間42分	4	39分
	経 済 建 設	6	9時間45分	1	1分
	厚 生 環 境 教 育	9	15時間05分	—	—
特 別	本庁舎建設に関する	8	3時間16分	7	5時間01分
	ミーティング（4月8日まで）	3	4時間52分	—	—
	小委員会（6月14日から）	17	21時間06分	—	—
	決 算	2	2時間28分	—	—
	第1分科会	1	1時間52分	—	—
	第2分科会	1	2時間49分	—	—
	第3分科会	1	4時間54分	—	—
広 報 広 聴 研 究 会		8	4時間17分	—	—
議 会 運 営 委 員 会		38	18時間17分	—	—
全 員 協 議 会		—	—	15	18時間49分
計		102	97時間23分	27	24時間30分

※会議時間は、休憩時間を含んでいません。

■本会議開催状況

回 次	開 会 期 間	会 期（日）	会 議 時 間	審 議 件 数
第1回定例会	2月24日～3月23日	28	19時間22分	51
第2回臨時会	5月10日～5月13日	4	2時間03分	13
第3回定例会	5月28日～6月28日	32	13時間07分	8
第4回定例会	8月23日～9月29日	38	15時間59分	42
第5回定例会	11月19日～12月20日	32	13時間18分	20
計		134	63時間49分	134

■審議の内容（報告は除く）

議 案 内 訳		計	説 明
市 長 提 出	承認議案	4	専決処分の承認
	認定議案	12	令和2年度一般・特別・企業会計決算
	条 例	2	多治見駅北送迎バス駐車場の設置及び管理に関する条例ほか
		31 (1)	ふるさと応援基金条例の一部改正、手数料条例の一部改正、福祉医療費の助成に関する条例の一部改正、介護保険条例の一部改正ほか
		—	—
	予 算	12	令和3年度一般・特別・企業会計当初予算
		27	令和2年度、令和3年度一般・特別・企業会計補正予算
	市 道	8	市道路線の認定・廃止
	契 約	5	工事請負契約の締結、物品供給契約の締結
	人 事	7	子どもの権利擁護委員、人権擁護委員、監査委員、教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員、公平委員会委員
議 員 提 出	そ の 他	11	第7次多治見市総合計画基本計画の変更、多治見市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定、東濃西部広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及びこれに伴う規約の変更、訴えの提起、指定管理者の指定ほか
	意 見 書	4 (1)	学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションの適切な推進を求める意見書、コロナ禍による厳しい財政状況に対応し地方税財源の充実を求める意見書ほか
	そ の 他	6	議長辞職許可、副議長辞職許可、常任委員の選任、議会運営委員の選任、決算特別委員会の設置、決算特別委員の選任
委員会提出議案		2	多治見市議会会議規則の一部改正、多治見市議会議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の特例に関する条例の一部改正
請 願		—	—
選 挙		3	議長選挙、副議長選挙、東濃西部広域行政事務組合議会議員の選挙
計		134 (2)	()の数字は、うち修正可決の件数

12月定例会の

おもな案件

基金の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例を制定

基金の見直しに伴い、関係条例の整備をするものです。

- (1) 処分の規定の新設、積み立て規定および運用益金の処理規定の整備、文言の整理等を改める。

- (2) 設置目的が似ている基金を統合し、統合される基金を廃止する。

令和4年4月1日から施行（統合される基金の廃止）

公布の日から施行（その他）

多治見市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正

消防団員の減少に歯止めをかけ、処遇を改善するため、次のとおり改正するものです。

- (1) 基本消防団員に年額で支給する報酬を年額報酬とし、金額を改める。

- (2) 基本消防団員が、災害、警戒、訓練等の職務に従事する場合、従来の費用弁償に代わり、出勤報酬を支給する。

- (3) 基本消防団員の報酬をまとめて支給できるようにする。

令和4年4月1日から施行

※ただし、(2)の改正については、条文

を一部修正し可決しました。修正の内容と可決までの動きは次のとおりです。

常任委員会において修正の動議を可決

11月30日に開催された総務常任委員会での審査において、同じ時間出勤しても時間帯により、消防団員に支払われる報酬に差が出るという意見があり、条文の一部を修正する動議が提出され、全員一致で可決しました。

本会議において委員会からの修正案を可決

12月20日に開催された本会議において、同委員会からの修正案について採決を行い、全会一致で可決しました。

令和3年度一般会計補正予算（第6号）を可決

多治見市一般会計歳入歳出予算の総額に1億5千540万円を増額し、431億4千188万9千円とするものです。おもな事業内容は次のとおりです。

□小学校空調機整備事業費

1億5千540万円

小学校の特別教室に空調機を設置するため、工事請負費を追加するものです。※中学校分は、一般会計補正予算（第1号）にて計上済み。

令和3年度一般会計補正予算（第8号）を可決

多治見市一般会計歳入歳出予算の総額に7億789万5千円を増額し、438億4千978万4千円とするものです。おもな事業内容は次のとおりです。

□新型コロナウイルス接種事業費

2億4千177万6千円

新型コロナウイルス感染症のワクチン追加接種（3回目）体制整備に伴う委託料等を増額するものです。

□小学校ICT整備事業費

550万6千円

①授業に用いる大型ディスプレイとタブレット端末との接続を安定させるためのケーブルおよびアダプタを購入するため、需用費を追加するものです。

189万5千円

②校務系システムのバックアップサーバーを更新するため、委託料を増額するものです。

108万円

③令和4年度に学級数が増えることに伴い、大型ディスプレイを購入するため、備品購入費を増額するものです。

20万6千円

④小学校（7校）の第2理科室に大型ディスプレイを購入するため、備品購入費を追加するものです。

232万5千円

令和3年度一般会計補正予算（第7号）を可決

多治見市一般会計歳入歳出予算の総額に8億1千153万円を増額し、446億6千131万4千円とするものです。おもな事業内容は次のとおりです。

□子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費

8億円

新型コロナウイルス感染症による子育て世帯への臨時特別給付金を給付するものです。

□子育て世帯への臨時特別給付金給付事務費

1千153万円

新型コロナウイルス感染症による子育て世帯への臨時特別給付金の給付に伴う事務費を計上するものです。

※補正予算は、市当局が提案した順に補正番号が付き、議会では番号順に表決を行います。今議会では、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業に伴う予算を、緊急的な経費として即決する必要があり、表決の順番を次のとおり入れ替え、審議しました。

12月15日…原案可決

議第106号 一般会計補正予算（8号）

議第106号 一般会計補正予算（7号）

12月20日…原案可決

議第96号 一般会計補正予算（7号）

議第96号 一般会計補正予算（8号）

意見書1件を可決

地方自治法第99条の規定により提出した意見書は、次のとおりです。

□夫婦の氏に関する制度の在り方についての議論を求める意見書

あて先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 法務大臣

常任委員会審査概要

議会の情報をみなさんにお伝えするため、
3つの常任委員会での審査概要をご紹介します。

総務常任委員会

委員長 城處 裕二

●議第88号 基金の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例を制定するについて

「基金を統合すると、統合される基金の利用者に不利益が生じるようなことはないか」との質疑があり、「影響はない」との答弁がありました。

●議第93号 多治見市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正するについて

今回の一部改正で、消防団員の収入が変わるかとの質疑があり、「費用弁償から災害出勤報酬に変更となり、日額をその出勤時間により2千円、4千円、8千円と定めた。出勤時間が4時間以内の勤務が全体の約9割を占めており、短時間の活動内容についても、報いるという趣旨である」との答弁がありました。1出勤1回ではなく、暦日で計算することについて質疑があり、「出勤時間が短時間のものが極めて多く、深夜帯に出勤したと想定した場合に、日額というのは暦日であり、午前0時を超えたら、そこでカウントをし直す方が手厚くなるため暦日で計算することとした」との答弁がありました。これに対し、「現状の条文で、4時間以上の場合の災害出勤報酬は8千円だが、午後10時から午前3時までの5時間勤務をした場合、暦日で2時間と3時間の勤務となり、それぞれ2千円と4千円の報酬で合計6千円となってしまう。連続して4時間以上勤務しているにもかかわらず、4時間以上の場合の災害出勤報酬額8千円が、もろえない事態が

経済建設常任委員会

委員長 林 美行

●議第91号 多治見市市街化調整区域における開発行為の許可の基準に関する条例の一部を改正するについて

対象者へ行った説明会での内容について質疑があり、「最も多かった問合せは、令和4年4月1日から本条例に基づく市街化調整区域における開発許可の基準の緩和区域から除外される区域の方からの建築や建て替えの可否についてであった。すでに建っている建物の建て替え自体は、今までどおり可能であるが、例えば、現在、山林もしくは農地を不動産業者に転売、売却をして開発を行う場合、条例の緩和区域から外れると開発ができなくなる。そのような計画のある方は、3月31日までに申請すれば可能であるため、早めに相談されるよう説明した」との答弁がありました。

●議第96号 令和3年度多治見市一般会計補正予算(第7号改め第8号) (所管部分)

ロケッツリズム推進事業費について、「やくならマガカップも第2期放映終了を機としたコンテンツ活用推進事業の実施に伴う協議会への負担金の財源が企業版ふるさと応援寄附金であるが、多治見市出身の経営者に対し、多治見市の産業観光に対する支援をお願いする投げかけは行うのか」との質疑があり、「広くPRをしてもなかなか難しく、企業誘致などで多治見市とゆかりのある企業にしか声かけができていない。原作者の株式会社フナネットが持つ歯科医院とのネット

厚生環境教育常任委員会

委員長 片山 竜美

●議第90号 多治見市国民健康保険条例の一部改正について

出産育児一時金42万円の支給件数について質疑があり、「国民健康保険における支給件数は、平成29年度は80件、現在は50件を下回っており、低下傾向である」との答弁がありました。

●議第94号 多治見市小学校及び中学校の設置等に関する条例の一部改正について

公共施設予約システムの更新に伴う学校開放施設の利用手順について質疑があり、「今後は、調整会での調整後に、各登録団体がスマートフォン等で施設予約を入力し、使用料は公民館など身近な公共施設で払えるようになる。その後は、登録団体各自で空き状況を確認し、施設予約ができるようになる」との答弁がありました。

●議第96号 令和3年度多治見市一般会計補正予算(第7号改め第8号) (所管部分)

児童手当の予算の増額について質疑があり、「コロナ禍で保護者の所得が減少し、支給の基準である所得額960万円以下の一般給付の方が増加したためである」との答弁がありました。また、陶都中学校の耐震補強事業費について質疑があり、「外壁塗料で使用したアスベストは、中学校建設当時は合法であったが、今回、外壁改修に合わせてアスベストを除去する。工事は、授業に配慮して行う」との答弁がありました。

常任委員会審査概要

付託された議案

事件番号	付託された議案	審査結果
議第88号	基金の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例を制定するについて	原案可決
議第93号	多治見市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正するについて	修正可決
議第95号	令和3年度多治見市一般会計補正予算（第6号）（所管部分）	原案可決
議第96号	令和3年度多治見市一般会計補正予算（第7号改め第8号）（所管部分）	
議第106号	令和3年度多治見市一般会計補正予算（第8号改め第7号）（所管部分）	

「発生するが、いかがか」との質疑があり、「『指摘のケースは稀なもので、簡素な制度という側面と、稀なものにどこまで対応するかとのバランスの中で、今回このような提案となった』との答弁がありました。その後、議員間の自由討議において、「現状の条例の一部改正案では、出勤する時間帯によって、消防団員に支払われるべき報酬に差が出てしまう事態が生じる。これについては、条例の条文をもって補完すべき」との議論があり、修正を加えても予算に大きな影響はなく、条例の根幹部分にも影響は与えないことを確認した上で、修正の動議が提出され、全員一致で可決しました。また、修正の動議を除いた原案についても、全員一致で可決しました。

付託されたおもな議案

事件番号	付託された議案	審査結果
議第89号	多治見市手数料条例の一部を改正するについて	原案可決
議第91号	多治見市市街化調整区域における開発行為の許可の基準に関する条例の一部を改正するについて	
議第92号	多治見市駐車場条例の一部を改正するについて	
議第96号	令和3年度多治見市一般会計補正予算（第7号改め第8号）（所管部分）	

「ワークを通じてのPRや市政アドバイザーへのPRなど、今後も努力する」との答弁がありました。

●議第103号 指定管理者の指定について
令和4年4月に一般社団法人多治見市観光協会および株式会社華柳と統合する多治見まちづくり株式会社が運営する多治見駅北立体駐車場の指定管理者が、令和4年4月1日から一般社団法人多治見市観光協会に変わることについて質疑があり、「駐車場の収益を活用し、中心市街地活性化を図る政策目的であるため、統合後も同じ政策目的を持つ一般社団法人多治見市観光協会が引き続き運営する。その後については、新体制での状況を見ながら決定したいと考えている」との答弁がありました。

付託されたおもな議案

事件番号	付託された議案	審査結果
議第90号	多治見市国民健康保険条例の一部を改正するについて	原案可決
議第94号	多治見市小学校及び中学校の設置等に関する条例の一部を改正するについて	
議第95号	令和3年度多治見市一般会計補正予算（第6号）（所管部分）	
議第96号	令和3年度多治見市一般会計補正予算（第7号改め第8号）（所管部分）	
議第97号	令和3年度多治見市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	
議第98号	令和3年度多治見市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	
議第99号	令和3年度多治見市病院事業会計補正予算（第1号）	
議第106号	令和3年度多治見市一般会計補正予算（第8号改め第7号）（所管部分）	

●議第100号 工事請負契約の締結について
バロー文化ホール大ホール音響設備などの更新工事の契約における業者選定の方法について質疑があり、「選定は、プロポーザル方式で行い、会社の技術力、能力を提案していただいた。要求水準を満たしているか、価格面やランニングコストも総合的に採点して選定した」との答弁がありました。

●議第101号 工事請負契約の締結について
バロー文化ホール舞台照明設備の更新工事の契約において、指名した3者のうち2者が辞退し、1者との随意契約になったことについて質疑があり、「競争性はあったと考えている」との答弁がありました。また、プロポーザルの手引き等の作成について質疑があり、「今回の事例では、一律横一線のルールは相応しくないとこのことで、プロポーザルに決めた」との答弁がありました。

12月定例会の議決結果

○全会一致の議案

《条例制定》

- ・基金の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例

《条例改正》

- ・手数料条例
- ・国民健康保険条例
- ・市街化調整区域における開発行為の許可の基準に関する条例
- ・駐車場条例
- ・消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例（※修正可決）

- ・小学校及び中学校の設置等に関する条例

《補正予算》

- ・一般会計（第6号）（議第95号）
- ・一般会計（第7号）（議第106号）
- ・国民健康保険事業特別会計（第3号）
- ・介護保険事業特別会計（第2号）
- ・病院事業会計（第1号）

《その他議案》

- ・工事請負契約の締結（2件）
- ・指定管理者の指定（4件）

○賛否が分かれた議案

項 目	議 案	1 山 田 徹	2 片 山 電 美	3 玉 置 真 一	4 城 處 裕 二	5 奥 村 孝 宏	6 吉 田 企 貴	7 佐 藤 信 行	8 渡 部 昇	9 寺 島 芳 枝	10 古 庄 修 一	11 柴 田 雅 也	12 欠 員	13 若 尾 敏 之	14 三 輪 寿 子	15 若 林 正 人	16 林 美 行	17 加 藤 元 司	18 仙 石 三 喜 男	19 井 上 あ け み	20 石 田 浩 司	21 嶋 内 九 一
令和3年度 補正予算	一般会計（第8号）（議第96号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	○
意見書	夫婦の氏に関する制度の在り方についての議論を求める意見書	○	○	○	○	退	○	退	○	○	○	○	○	○	×	退	退	退	退	退	長	○

注）○：賛成 ×：反対 一：採決に参加できない 欠：欠席 退：採決時に退席

3月定例会の予定

2月22日（火）	本会議（招集～提案説明）	11日（金）	特別委員会
3月2日（水）	本会議（質疑～委員会付託）	15日（火）	本会議（市政一般質問）
7日（月）	総務常任委員会	16日（水）	本会議（市政一般質問）
8日（火）	経済建設常任委員会	17日（木）	本会議（市政一般質問：予備日）
9日（水）	厚生環境教育常任委員会	23日（水）	本会議（委員長報告～表決）
10日（木）	委員会（請願）予備日		

*会議の開始時間は、午前10時です。

*提出議案等により、委員会の開催予定日が変わることがありますので、ご注意ください。

*一般質問当日の質問順位は、あらかじめホームページでお知らせします。なお、各議員は質問順位にしたがって一般質問を行うため、各議員の一般質問の開始時間は未定です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本会議、委員会を傍聴される際は、手指の消毒とマスクの着用をお願いいたします。（傍聴席の入り口にアルコール消毒液を用意いたします。マスクはご持参ください。）

市政一般質問

市政一般質問は、議案質疑のほかに市政全般にわたって市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、定例会に限って行われます。

今回は16人の議員が登壇し、市の考えを尋ねました。

7ページから15ページまで、登壇順におもな内容を掲載しています。

※各議員のタイトル下のQRコードを読み込むと、録画放送をご覧いただけます。

●若尾 敏之 議員	土岐川豊岡地区堤防整備事業	7P	●寺島 芳枝 議員	H P Vワクチン積極的勧奨再開に向けて	11P
●城處 裕二 議員	『親育ち4・3・6・3たじみプラン』について考える	8P	●玉置 真一 議員	多治見の魅力 再発見 そして発信！	12P
●奥村 孝宏 議員	多治見市の害虫・鳥獣被害対策について	8P	●三輪 寿子 議員	ジェンダー平等の視点から「生理の貧困」対策を！	12P
●渡部 昇 議員	避難行動要支援者の避難支援強化について	9P	●山田 徹 議員	アニメ「やくならマグカップも」とこれからの活用について	13P
●若林 正人 議員	発達支援センター統合整備方針(案)について	9P	●片山 竜美 議員	独自の歴史と文化で、学びと癒しの街 多治見へ！	13P
●佐藤 信行 議員	若松町ラウンドアバウト交差点改良事業について	10P	●井上あけみ 議員	多治見市における「ひきこもり」状態の方々の実態と支援について	14P
●吉田 企貴 議員	人口減少社会における多治見市が目指す政策の方向性について	10P	●林 美行 議員	駅北地区の大きな問題	14P
●仙石三喜男 議員	星ヶ台運動公園の整備内容と身近な運動施設【健康遊具】の活用推進について	11P	●古庄 修一 議員	女性副市長制度の導入（副市長の二人制）について提案する	15P

問

堤防整備事業の工事内容および整備事業を行う重要性はどのようなか。

現在、土岐川で堤防整備事業が進められている。全国各地で地震や大雨などの災害による被害が多発しており、万が一に備えるために、防災対策は必須である。現在行われている堤防の嵩上げが早期に実現することを望み、以下の質問をする。

今回の堤防整備事業は、どのような経緯から工事に至ったのか。
【市長】平成23年の台風15号豪雨に対応した浸水対策事業により、平和町および池田地区は安全になったが、豊岡地区が弱いことから、引き続き国土交通省に堤防の嵩上げを要望し続け、今回の着工に至った。
また、土岐川・庄内川流域治水協議会に参画し、名古屋市とともにリーディング市となり、中流域の重要な役割を担っている。

答

まずは、安心できる川となるよう整備を進め、その後は、記念橋から上流に展開する「かわまちづくり」に、地域住民の皆さんと一緒に取り組み、国土交通省と協力し、連続性を持ってしっかりと進めている。

問

工事区間は車の通行が大変多く、豊岡駐車場もある。遊歩道も多くの市民が利用しているが、工事中はどのように対応するのか。
【建設部長】工事期間中、堤防沿いの市道は車両通行止めになるため、迂回をお願いすることになる。また、遊歩道も利用できないため、工事施工区間を避けて周遊していただくよう、工事看板や誘導員等で周知を図るなどの対策を講ずると聞いている。

答

【建設部長】現在、豊岡地区はほかの地区と比べて堤防の高さが低く越水する可能性があり、安全度が低い状態である。そのため、特殊堤と呼ばれる高さ0.6mから1mのパラペット（コンクリート壁）を設置して、堤防の高さを嵩上げする。工事区間は、多治見橋から昭和橋の間で、右岸側は全区間の450m、左岸側は産業文化センター前の100mの区間である。事業期間は、令和3年度から令和5年度までの3年間と聞いている。また、総事業費は約5億円と推測される。



わか お とし ゆ き
若尾 敏之

土岐川豊岡地区堤防
整備事業



◆その他の質問項目
「いじめ」問題



きどころ ゆうじ
城 裕二

『親育ち4・3・6・3たじみプラン』
たじみプラン』について
考える



『親育ち4・3・6・3たじみプラン』は、非常に大切なプランであり、子どもが等しく持つ権利を保障する上で重要な取り組みと考えている。
子どもに向き合うとき、大人の事情や志向を押し付けるのではなく、何が本当にこの子のためなのか常に試行錯誤し、子どもの成長に謙虚に向き合いながら、自分自身も成長していく。こうした意識を、『親育ち4・3・6・3たじみプラン』を通じて、子どもの親のみならず、祖父母、教員、地域も一丸となって持つことが重要であると考え、以下の質問をする。

問 『親育ち4・3・6・3たじみプラン』は、どのように事業展開されているのか。

答 『市長』『親育ち4・3・6・3たじみプラン』は、「親が育てば、子どもも育つ」という、保護者や子どもも育ちを地域とともに支えている事業である。

問 『子どもの権利条例』と『親育ち4・3・6・3たじみプラン』を関連づけて取り組む考えはあるか。

答 『市長』『親育ち4・3・6・3たじみプラン』は、事務局会議で目標を確認して、重点施策を決定し、各担当課が目標に向かって事業を展開している。

『親育ち4・3・6・3たじみプラン』ができた当初から同プランと『子どもの権利条例』は車の両輪のように動き、別々のものではないと認識し、市職員にもそのように指示をしている。

問 親だけではなく、地域の役割も重要と考えている。『親育ち4・3・6・3たじみプラン』の取り組みを進めることで、一人でも多くの人が、『子どもの権利条例』を認識し、かわつてもらうとともに、条例の理念を『親育ち4・3・6・3たじみプラン』にも盛り込んでもらいたいと思うが、いかがか。

答 『市長』『親育ち4・3・6・3たじみプラン』は、地域によって差が出ることはないが、取り組みを進めていく主導権は、多治見市が担うべきだと考えるが、市の考えはどのようなか。

問 『市長』多治見市が主導権を担っているが、取り組みを進めていく校区側には、積極的なところと、そうでないところがある。

答 『市長』『親育ち4・3・6・3たじみプラン』を進めることで、子どもたちが、日本中に羽ばたき、そして再び、多治見に戻ってきてほしいと考えている。



おくむら たかひろ
奥村 孝宏

多治見市の害虫・鳥獣
被害対策について



多治見市の遊休農地の管理と害虫対策および鳥獣被害対策のうち、特にイノシシ対策について、以下の質問をする。

問 市内の遊休農地の推移と、遊休農地削減の取り組み状況は。

答 『市長』農業委員会による巡回指導、農地の利用状況調査や地域住民の農地保全活動への交付金支給等の取り組みにより、遊休農地は、令和元年度約20.6ヘクタール、令和2年度約19.1ヘクタールで、1.5ヘクタール改善した。

問 荒れた農地に対して改善を促す文書を送付しているが、実績と効果は。

答 『経済部長』令和2年度は7件、令和3年度（11月末時点）は25件送付した。効果は5、6割である。

問 市内のイノシシ捕獲用檻の設置数と管理の状況は。

答 『経済部長』檻の設置数は、市所有54基、個人所有27基、猟友会所有10基の合計91基。そのうちの72基の管理を猟友会に委託している。

問 イノシシの捕獲状況と、捕獲後の処置の流れはどのようなか。

答 『経済部長』捕獲頭数は、令和2年度178頭、令和3年度（11月末

時点）172頭。捕獲されたイノシシは、市担当職員と猟友会で現場へ行き、猟友会により殺処理後、市担当職員が三の倉センターへ運んで焼却処分を行っている。

問 檻の増設は可能か。また、捕獲実績のない檻を求められる場所に移動することは可能か。

答 『経済部長』檻の増設は、現在の猟友会の人員体制では難しい。檻の移動は、現在設置されている地域の方の理解と新たな設置場所の安全性等が確認できれば可能である。

問 管理の一部を民間委託できないか。

答 『経済部長』北小木地区で行っている、地域による捕獲体制を他の地域にも拡充していくとともに、民間委託の導入についても研究していく。



甘原町で捕獲されたイノシシ
(奥村孝宏撮影)



わたなべ のぼる
渡部 昇

避難行動要支援者の 避難支援強化について



災害時の迅速な避難支援を強化するため、令和3年5月に災害対策基本法が改正された。これにより、個別避難計画の作成が自治体の努力義務となった。これは、個別避難計画を作成し、避難先や避難経路などを事前に定めることで、災害時に支援を必要とする高齢者、障がい者といった避難行動要支援者の早期避難の実現を目的としている。しかし、計画作成済みの市町村は、全国で1割程度にとどまっていることから、本市の状況について、以下の質問をする。

問

地域の防災活動に活用していただいている。

答

【企画部長】 認知症高齢者については、本人の届出により、名簿への登録が可能であるため、周知を進め、支援の拡充を図っている。また、浸水想定区域や土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設については、避難確保計画の作成や避難訓練の実施が義務づけられており、本市で該当する施設の68%が避難計画を作成済みである。説明会の開催など、さらにこの取り組みを進めていく。

問

災害時に自ら避難することが困難な者に対し、円滑かつ迅速な避難を支援するためには、個別避難計画の策定が必要不可欠であると考えているが、いかがか。

答

【市長】 近年の災害においては、多くの高齢者や障がいを持つ方が被害に遭われており、避難支援の実効性を高める個別避難計画の策定は重要であると認識している。

問

本市の避難行動要支援者名簿の登録状況と運用についてはどのようなか。

答

【企画部長】 要支援者約8千700人のうち、名簿登録者は約4千500人である。区長や民生委員などに配付し、平常時から声かけや

問

答

【企画部長】 個別避難計画については、災害発生の可能性が高い地域から始めていきたいと考えているが、要支援者の洗い出しが必要となるため、時間をかけながら作成せざるを得ないと考えている。



わかばやし まさと
若林 正人

発達支援センター統合 整備方針(案)について



先ごろ、本市の発達支援センター統合整備方針が策定された。長きにわたる検討された、発達支援センターの施設統合方針に加え、療育や支援のあり方の指針が示された。そこで、本市における今後の発達支援のあり方を問うべく、以下の質問をする。

問

本整備方針により、療育体制はどのように変わるのか。

答

【市長】 発達支援センター「なかよし」、「ひまわり」およびことばの教室、4力所に分散していた療育施設を1力所に集約する。それにより、児童の特性に応じ、個別や集団を含む柔軟な療育の提供が可能になる。

答

【福祉部長】 統合した施設は、児童発達支援センターと位置付ける。児童発達支援センターは、中核的な機能を果たす施設として、市全体の療育の底上げを担う。また、グループ療育を充実することで、人間関係や生活の基本、言語、動作、社会性の発達を促し、集団適応能力を高め、よりスムーズに小学校教育へとつなげる。

問

なぜ視察先に春日井市を選定したのか。療育体制や経営状況など、どのようなことを参考にしたのか。

答

【副市長】 担当課における検討の中で、増加する療育対象者を受け入れる枠を市全体で確保する目的で、民間事業所の活用を検討した。春日井市は、全体の約9割を民間事業所が担っており、それを支える児童発達支援センターを点在させている点を参考にした。

問

利用者にとってのメリットは何か。

答

【市長】 市内に民間事業所が複数できることで、利用者の選択肢が広がる。また、自宅に近い事業所の選択が可能となる。

答

【福祉部長】 施設統合後は、新たに相談事業を実施するため、一般相談だけでなく、発達に関する専門的な相談も可能となる。

問

児童福祉法では、障がい特性に応じた専門的な支援が提供されるよう療育の質の確保が求められているが、どのように確保していくのか。

答

【福祉部長】 児童発達支援センターが中心となり、市内の各事業所を結ぶ連絡協議会を開催する。民間事業所の職員も集まっていたとき、外部講師による研修、職員間の交流による情報共有などを実施し、市全体の療育の質の向上を図っていく。



さとう のぶゆき
佐藤 信行

若松町ラウンドアバウト
交差点改良事業について



【建設部長】

横断歩道および歩道の設置については、歩行者通行量調査の結果や、既存の歩道の設置状況をもとに、岐阜県公安委員会と協議し、北側と西側の2力所の設置となった。

【国土交通省の望ましいラウンドアバウトの構造についての基本方針には、導入にあたっては、利用者および地域住民への情報提供ならびに合意形成を図るものとする」とある。今後、関係者、地域住民の理解が得られるよう、意見交換や報告・説明の機会はあるのか。

【建設部長】

関係者や地域の方々へは継続して説明を行う。工事着手前には説明会を開催する。通行方法については、多治見警察署と協力し、説明会等で周知していくとともに、完成後1カ月程度は路上で交通指導を行う。

【市長】

事業の進捗状況は、

令和2年度に、南西側の工事が完成し、令和3年11月末には、北東側の水路入替工事も完成した。

今後は、残りの用地買収と補償等を進め、交通弱者の方の意見も取り入れながら工事を行い、令和5年度の完成を目指す。

【問】

横断歩道は、北と西の2力所に設置され、南と東は除かれる計画だが、安全を考慮し、横断歩道および歩道を全面に設置してはどうか。

【市長】

ラウンドアバウト交差点で、どのような安全対策ができるかは、交通弱者の方の意見を伺い、岐阜県公安委員会とも協議を重ねながら、しっかりと検討していく。



よし たか
吉田 企貴

人口減少社会における
多治見市が目指す政策
の方向性について



人口減少という現実と向き合いながら、目指すべき多治見を達成するための政策実現に向けて、いくつかの提案とともに、以下の質問をする。

【問】人口減少という現実をどう捉えているか。

【市長】第8次総合計画の策定にあたって、一番の課題は人口減少であると認識している。

【問】政策目的を「住民満足度に寄与する政策」、「人口減少に順応する政策」、「人口減少を緩和する政策」に整理し、個々の政策を実行していくべきではないか。

【市長】第7次総合計画においてもそのような視点で政策を構築してきた。第8次総合計画ではさらに柔軟に、積極的に対応していく。

【問】現実的な人口目標を設定した上で、年次別の人口増加目標を設定するべきではないか。

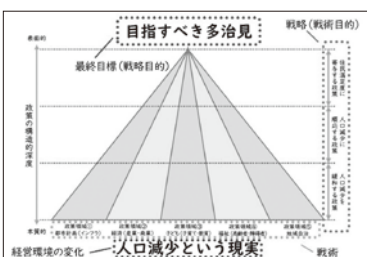
【企画部長】第8次総合計画の基礎となる人口推計を、来年度実施する。提案いただいた点も参考に、人口目標を設定する。

【問】社会増減の要因を、多治見市に住宅を購入して住んでいる「定住人口」と、賃貸住宅等に住んでいる「流

【企画部長】転出の最大の要因は若年層の職業、学業上の理由であり、転入の要因は住宅事情である。第8次総合計画において、提案いただいた点も踏まえ、市民や議会の意見を聴きながら策定していく。

【問】第8次総合計画は、「人口減少に順応する政策」と「人口減少を緩和する政策」のどちらに力点を置くのか。

【企画部長】現時点では両方である。現在でも「人口減少に順応する政策」として公共施設適正配置計画に取り組んでいるが、引き続き第8次総合計画の策定の中で議論していきたい。



政策体系の整理のための概念図(吉田企貴提案)



せんごく みき お
仙石三喜男

星ヶ台運動公園の整備
内容と身近な運動施設
「健康遊具」の活用推進
について



今後の星ヶ台運動公園の整備内容と
身近な運動施設（健康遊具）の活用推
進について質問する。

問 星ヶ台運動公園の整備に関する意見
や要望は、どのように反映されてい
るのか。また、広く市民が集い、遊
べるような総合公園としての視点は
あるのか。

答 【市長】 星ヶ台運動公園整備基本計
画は、多治見市スポーツ協会および
種目協会の意見や要望、パブリック・
コメントによる意見聴取を経て令和
元年度に策定したものである。運動
公園として、スポーツの中心的な場
所となるよう、真に必要な施設、機
能を統合した計画で、多くの市民が
スポーツを楽しめるような多目的広
場や運動広場を整備する。実現可能
な内容で、現状の課題を可能な限り
クリアできる計画とする。

問 子ども向け遊具のある芝生広場の設
置、市道を安全に横断するための横
断歩道の追加、オーバーパス、アン
ダーパスの設置などを提案するがい
かがか。また、9月議会で検討予定
とされた、スケートボードのできる
広場の設置を提案するが、いかがか。
【副市長】 今回の整備計画は、現状
の運動公園を基本として整備を進め
るもので、芝生広場の設置は予定し

ていない。また、道路を横断するこ
となく利用できるよう、道路を挟ん
で南北に分断されているテニスコー
トを道路北側に集約して整備するた
め、オーバーパスやアンダーパスは
整備しない。なお、横断歩道につい
ては、カーブや勾配がある市道の形
状から、警察と協議した結果、現在
の場所でしか設置ができない。

答 【環境文化部長】 健康遊具は、既存
のものとのバランスを考えて検討す
る。スケートボードの利用は、星ヶ
台運動公園整備計画の中だけでな
く、安全性や近隣住民への騒音等
にも配慮しながら、公共施設全体に
おける適切な場所を検討する。
健康遊具設置後の利用者の反応と、
今後の設置計画はどうか。



星ヶ台運動公園整備
基本計画図

問 【建設部長】 設置後は好評であり、
特に高齢者の利用が多い。地域の要
望やバランスを考えながら、毎年3
公園から5公園、6基程度の設置を
計画している。



てらしま よし え
寺島 芳枝

HPVワクチン積極的
勧奨再開に向けて



子宮頸がん予防ワクチン（HPVワ
クチン）の定期接種は、国が積極的勧
奨を差し控えるとしたため、接種率は
激減している。本年10月、厚生労働省
の専門部会で、積極的勧奨の再開が了
承された。今後のHPVワクチンの積
極的勧奨再開に向け、質問をする。

問 国は、令和2年10月と令和3年1
月の2度にわたり接種対象者への
情報提供の徹底を求めている。そ
の通知を受けての本市の対応は。

答 【市長】 令和2年度に接種対象者で
ある市内の小学校6年生から高校
1年生の女子全員に対し、HPVワ
クチン接種に関する情報を個別に
通知した。

問 本市における通知実施世代の接種
数と、令和2年度の接種数の比較
はどうか。

答 【市長】 対象者へ積極的に勧奨した
平成23年度の接種件数は、5千39
件、積極的勧奨が差し控えられた
平成25年度は194件、対象者へ
個別通知による情報提供を行った
令和2年度は110件である。

問 厚生労働省の専門部会で、積極的
勧奨の再開が了承されたことを踏
まえ、国の方針が積極的勧奨再開
となれば、速やかに接種勧奨を進
めてもらいたい。その場合の周知

対象と周知方法は。

答 【市民健康部長】 接種対象となつて
いる市内在住の小学校6年生から
高校1年生の未接種の女子全員に
対し、ワクチン接種に関する説明
文書と予診票を郵送する予定であ
る。

問 定期接種の対象年齢を過ぎた高校
2年生以上の市民への対応は。

答 【市民健康部長】 接種費用の負担に
ついては、国でも検討されている。
国の通知を受けて検討したい。

問 ワクチンは3回接種しなければい
けないため、少しでも早く周知し
てほしい。予診票の発送時期は。

答 【市民健康部長】 今年度の対象者全
員に、積極的勧奨差し控え終了を
お知らせするがきを、12月中旬に
送付するよう準備をしている。



お知らせがき

◆その他の質問項目
について



たま おき しんいち
玉置 真一

多治見の魅力
そして発信！
再発見



多治見市には、魅力ある観光資源が数多くあり、市民の自慢でもある。なかでも、「歴史・文化」、「伝統産業」は、とりわけ光り輝く観光資源であり、永保寺や美濃焼は観光客を惹きつける素晴らしい財産である。

これまで、日帰り観光を軸にさまざまな取り組みを行ってきたことを高く評価しているが、この度、岐阜県観光連盟が運営する旅行商品販売サイト「VISIT（ビジット）岐阜県」において、多治見市の積極的な取り組みにより、素晴らしい実績を残したと聞き、以下の質問をする。

問 本市では、「VISIT岐阜県」などの旅行商品開発にどのように取り組んだのか。

答 【経済部長】 令和2年度に、中止が相次いだ小中学生の修学旅行の代替企画として「家族で県内修学旅行プラン」を提案した。令和3年度は、夏休みの親子での体験をテーマとした「岐阜マナビ旅」など複数のプランを提案した。

問 近年、体験型プランに人気があるが、本市ではどのような企画をしたのか。

答 【経済部長】 若手職員のアイデアにより、「歴史・文化」、「伝統産業」



VISIT岐阜県
QRコード

をテーマに、永保寺の国宝特別拝観や岐阜県重要無形文化財保持者の作陶パフォーマンスなど、本物に触れる旅を企画した。

問 どのような反響があったのか。

答 【市長】 「家族で県内修学旅行プラン」では、提案した5プランすべてが採択され、「岐阜マナビ旅」などでは、本市のプランが売り上げトップになるなど、高い評価をいただいた。

問 美濃焼を中心に企画がされているが、美濃焼以外の企画はあるのか。

答 【市長】 令和3年11月に虎渓用水広場で開催した「わんワンダーフェス」も非常に好評であった。多治見は、犬と暮らすにはとてもいい環境であり、愛犬家を他市から呼び込む「移住犬住（いじゅうけんじゅう）」に向けて、市役所内でも議論していきたい。



み わ ひさこ
三輪 寿子

ジェンダー平等の視点から
「生理の貧困」対策を！



東濃地域では、初めて土岐市が全小中学校のトイレに生理用品の設置を開始した。多治見市の小中学生が安心して登校し、心身の健康が守られるために、早急に全小中学校のトイレに生理用品が無償設置されることを求めて、以下の質問をする。

問 土岐市の取り組みをどう評価し、本市としてどう対応されるのか。

答 【副教育長】 土岐市の取り組みは令和3年11月からであり、現段階での評価は困難である。本市では、支援が必要な児童生徒を養護教諭が把握し、一人ひとりに寄り添った対応を重視するため、現時点で無償で設置する予定はない。

問 土岐市では、養護教諭、教育長が「生理の貧困」問題の改善の第一歩として評価されている。先進事例に学び、まずは試行的に実施することが必要ではないか。

答 【副教育長】 本市では、困った一人を抱え込まず周りに相談し、先生に言えば助けてもらえるという指導が大事であると考えている。今後も学校現場、子ども達の状況把握に努めていく。

問 子どもの生理について実態調査を実施し、現状の保健室対応とトイレ

の設置、また、生理痛による体調不良への対応等、児童生徒に寄り添った具体的な支援が必要と考えるがどうか。

答 【副教育長】 養護教諭が生理痛の児童生徒の状況を把握し、個別の声かけ、具体的な処置を行っている。また、貧困家庭にはスクールソーシャルワーカーが家庭訪問をするなど、幅広く支援している。生理に対する不安を抱える児童生徒は把握できている。

問 生理に対する正しい認識を持つための性教育を、男女ともに早期から発達段階に応じて実施することが必要だが、現状はどうか。

答 【市長】 今年度、文部科学省の依頼により、プライベートゾーンを大切にする学習等を行う「生命の安全教育」を、小学校低学年から実施している。

問 三重県鈴鹿市は「生理の貧困」対策について、民間の協力支援で公共施設に生理用品を設置し、利用可能であるが、この取り組みの評価と本市の見通しはどうか。

答 【環境文化部長】 この取り組みは、生理用品は無料だが、初期費用の一部負担や数等の設置条件があるため、引き続き研究していく。



やま だ とおる
山田 徹

アニメ「やくならマグカップも」とこれからの活用について



多治見市を舞台としたテレビアニメ「やくならマグカップも」(通称「やくも」)は、令和3年4月に第1弾が、10月には第2弾として「やくならマグカップも 二番窯」が放映され、大変好評を得ていると聞いた。さらなる発展を目指す本市として、今後の経済政策や観光資源の観点から、「やくも」をどのように活用していくのかについて、以下の質問をする。

問

「やくも」に対する世間の評価はどのようなか。

答

【市長】作品の立ち上げからアニメ制作委員会と多治見市が協力して制作し、作品公開後もお互いに協力して作品や多治見市のPRを行ったことが評価された結果、令和3年9月に京都市で行われたアニメのづくりアワード地方創生部門で銀賞を受賞した。また、11月に雑誌「ロケーションジャパン」によるロケーションジャパン大賞にノミネートされた。多治見の陶芸を使って、アニメーションをどのようにつくり込むのか、多治見市や美濃の地をどのように世界にPRするかという戦略に基づいた第一歩から取り組んだことが一番大きな評価である。

問

力な関係を構築していく計画である。アニメ放送開始から現在までの経済効果を、どのように評価しているのか。

答

【経済部長】作品の特徴である前半アニメ、後半実写の放送形態によって、多治見の景色や美濃焼を存分にPRできている。また、放送は東京、大阪、名古屋圏での地上波と全国をエリアとしたBS、国内外に向けたインターネット配信が行われており、放送料に換算した、本市や美濃焼に対する効果は計り知れない。また、「やくも」のグッズは、46種類131アイテムが販売されている。そのうち、「座布団のかけらキーホルダー」は、出せば売り切れる状態である。駅の観光案内所や多治見市PRセンターでも毎月安定した売り上げがある。

問

アニメ放送終了後、「やくも」をどのように活用するのか。

答

【経済部長】アニメの中で開催された「美濃焼コンテスト」を参考に「全国やきもの甲子園」を企画し、作品を募集している。また、今後もロケ地や施設を活用したPRを継続し、新しい客層を市内に呼び込みたいと考えている。



かた やま たつ み
片山 竜美

独自の歴史と文化で、学びと癒しの街多治見へ！



多治見市にある歴史的、文化的遺産は、我々に学びと癒しを与えてくれている。令和4年4月、既存組織を統合して地域経済活性化、まちづくりや観光振興のための新組織「一般社団法人多治見市観光協会(多治見DMO)」が立ち上がることに大いに期待し、以下の質問をする。

問

市内には「オリベ」を冠した名称が多く存在する。その由来である「古田織部」や「オリベイズム」を広くPRするため、掲示板の設置はできないか。

答

【経済部長】本町オリベストリート散策マップでは、古田織部やオリベイズムについて触れているが、本市に直接ゆかりがない古田織部を紹介する掲示板の設置は考えていない。

問

地元住民の皆さんが、田代町の一方通行道路である旧下街道を一中之郷通り」と名付けられている。地元活性化のきっかけづくりとして、案内看板の設置や観光マップへの掲載はできないか。

答

【経済部長】案内看板の設置や観光マップへの掲載は考えていないが、観光ボランティアガイドが作成する「下街道マップ」への掲載を依頼する。

問

多治見空襲は、平和学習として、戦争をより身近に感じることができ、貴重な題材である。

小学生向けに、証言や空襲の痕跡なども織り込んだ新しいDVDの作成や、多治見空襲に関する常設展示はできないか。

答

【環境文化部長】多治見空襲を後世に伝えていくことは重要であると認識している。市としてDVD等の制作や展示を行う予定はないが、「多治見空襲を語り継ぐ会」の活動をしっかりと支援していく。

問

バロー文化ホールは、世界3大ピアノを所有しているが、市民の認知度は低いと感じる。また、ピアノのオーバーホールができていないと聞くが、施設の改修はオーバーホールの良い機会ではないか。

答

【市長】バロー文化ホールにあるピアノ、「スタンウェイ」と「ペーゼンドルフアー」のオーバーホールは、バロー文化ホールの大改修工事にあわせて令和4年度に実施する予定である。

答

【環境文化部長】たじみ音楽でまちづくり市民協議会や名古屋音楽大学と連携協力し、ピアノを身近に感じただけのよう努めていく。



いのうえ
井上あけみ

多治見市における「ひきこもり」状態の方々の実態と支援について



平成30年度の内閣府調査では、40歳以上64歳以下の広義の「ひきこもり」状態にある方は、約61万人であり、先頃のNHKの報道によると約100万人とも言われる。国も支援策をまとめ、対策を講じようとしているが、改めて多治見市の考えを伺い、苦しんでいる当事者や家族への応援につなげるため、質問をする。

問 多治見市内の「ひきこもり」状態にある方の人数と、その実態を把握しているか。

答 【副市長】 岐阜県が令和元年7、8月にかけて、各市の民生児童委員の協力を得て、状況調査を行い、令和2年3月に報告書をまとめた。報告書によると、県内で1千174人、東濃圏域では196人が「ひきこもり」となっているが、本市の人数は、把握していない。

問 多治見市として、「ひきこもり」に特化した相談窓口を設置する考えはあるか。

答 【市長】 「ひきこもり」に特化した相談窓口を設置する予定はないが、来年度から実施予定の「就労準備支援事業」の中で、「ひきこもり」の対応をしていく。

問 「ひきこもり」の方や、その家族は、

周囲から孤立して、誰にも言えず苦しんでいる。その中で、相談窓口があることが分かりさえすれば、電話や直接相談に行かれると聞く。窓口の存在を広く知らせることにして、どのように考えているのか。

答 【市長】 市は、「ひきこもり」の方の情報を把握していないため、状況を把握している民生児童委員に、多治見市が「就労準備支援事業」の中で対応していくことを、機会を捉え伝えていく。

問 他の自治体も「就労準備支援事業」で対応している。多治見市の取り組みは。

答 【福祉部長】 令和4年度予算が認められれば、社会福祉協議会に委託し、人員を配置し、対応をお願いしていく。

問 「ひきこもり」の方の居場所づくりについては、どのように考えているか。

答 【福祉部長】 居場所づくりについても「就労準備支援事業」の中で対応していくが、具体的なことは、まだ決まっていない。同じ境遇の方が集まり、交流できるような場所をイメージしている。



はやし
林 好久

駅北地区の大きな問題



駅北地区を建設候補地の一つとして、いる新庁舎建設事業の問題点について、以下の質問をする。

問 駅北土地区画整理事業であるにもかかわらず、本庁舎の駐車場用地がないのは、計画性がないのではないか。

答 【総務部長】 本庁舎の建て替えは、駅北土地区画整理事業の一環として進めているものではなく、全く別の問題である。

問 駅北で想定される駐車場は使い勝手が悪いのではないか。また、地価が高い場所であり、コストがかかるのではないか。

答 【総務部長】 駅北に本庁舎を建設するとした場合、駅北で駐車場を新設する案に加え、駅北立体駐車場の活用という意見をいただいている。また、新庁舎検討市民委員会（以下、市民委員会）では、駅南からのアクセス向上のため、駅南再開発の駐車場と連携し、南北自由通路を経由して新庁舎に入るといった意見もいただいている。整備の必要性も含めて多様な意見をいただいており、慎重に検討する。

問 駅北の利便性が高いとされる理由は何か。

答 【総務部長】 公共交通の結節点であ

る多治見駅の直近であること、駅北庁舎と一体として運用できること、他の行政機関と近接することから利便性が高い。市民委員会では、ネットワーク型コンパクトシティの形成や中心市街地活性化等の観点から、現本庁舎周辺、駅南、駅北を一体のものとして、機能分担と連携によるまちづくりが必要との意見をいただいている。

問 駅北は地震による液状化の恐れがある地盤であり、大雨による浸水の可能性もある。防災拠点としては不適切ではないか。

答 【総務部長】 地震防災マップは、ボーリング調査のデータをもとに作成しており、安全性について駅北と日ノ出町で有意な差はない。浸水については、建物の設計、非常用電源等により防災拠点としての役割を果たせると考えている。極めて稀なケースを想定して、日々の利便性を犠牲にすることは適当でない。

その他の質問項目

- ◆改めて、陶都の杜を住みやすい街にするために
- ◆駅南再開発において後年度に負担は発生しないのか



ふるしやう しやういち
古庄 修一

女性副市長制度の導入
(副市長の二人制)に
ついて提案する



世の中は、今まさに女性の活躍推進が叫ばれている。そして今、多治見市も大きく変革のときを迎えている。

多治見駅を中心とした南北の発展、さらに、新庁舎建設を目指す傍らで、川北、川南地区の新しいまちづくりなどの重要な時を迎えている。こうした背景のもと、市長の負担軽減を図る上で、その支えとして必要な存在が求められるのではないかと考える。

古川市政誕生から4期14年が経ち、市長を補佐し、女性の目線からの考え方や捉え方、女性の活躍推進の中から取り入れられることは、今後の古川市政にとって欠かせないのではないかと考える。

女性副市長制度の導入(副市長の二人制)について、以下の質問と提案をする。

問

女性活躍推進の観点から、女性副市長の登用(副市長の二人制)についての考えはどのようなものか。

答

【市長】本市は、人口約10.8万人に対し、職員数が約7500人である。職員に対し、相当厳しい行政改革をお願いしていることに加え、緩やかな人口減少、持続可能な観点から、議会や市民に対しても、公共施設の統廃合など、いろいろな痛みを伴う状況がある。その中

問

で、副市長の二人制については、市長として考えていない。一方で、多治見市の行政の中では、女性を積極的に登用する。例えば、TAJIMEALGO(タジミールゴ)、美濃焼GO、洒落てGOといったGOシリーズでは、現在の経済部を中心に、中堅から若手の女性職員を積極的に登用して動いており、それは市民感覚に近いものがある。

政策の立案に加え、政策の実現、実行に関して、多治見市の女性職員の意見をしっかりと聞くことと同時に、聞いた意見については実践する。

答

【企画部長】副市長は内部的な最終責任者として尽力している。この状況から、内部統制推進責任者を設置する必要性は感じていない。

市議会の本会議がインターネットでご覧いただけます！

インターネットにより、定例会のようすをライブ中継と録画中継で映像配信しています。ぜひご覧ください。

※録画放送の視聴には、議会終了後1週間程度のお時間がかかります。



多治見市議会 議会中継

検索



おりべネットワークで市政一般質問を放送しています！

毎定例会の市政一般質問をおりべネットワークで放送しています。放送は、原則として午前10時からです。ぜひご覧ください。

「おとどけセミナー」を開催しました

11月10日に、多治見工業高等学校において「おとどけセミナー」を開催し、次世代の多治見を担う現役の高校生達と直接意見を交わしました。率直な質問から、予想もしないような質問！？も飛び出して、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

そんな「おとどけセミナー」の様子を、少しだけ紹介します。



- ・よかったです！時間足りなかった！
(デザイン科)
- ・選挙に行く必要性が分かった。
(電子機械科)



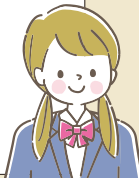
- ・議員さんになろうと思った動機は、真面目かなと思ったら、案外、安直だったり、成り行きだったりする人がいて驚いた！
(セラミック科)
- ・選挙に行く意義や、議員さんから見た選挙の話を聞くことができた。
(セラミック科)



- ・若い人たちも選挙に積極的に参加することで、より良いまちづくりができる。
(電気システム科)



- ・議員さんの仕事のことから、家庭のことまで、たくさん聞いて面白かった。
(デザイン科)
- ・実際に話して、答えを聞けるのは、とてもいい経験だと思った。
(セラミック科)



- ・議員さんの仕事や、年収のことまで、いろいろ聞くことができた。
(電気システム科)



この議会だよりは1部当たり10.25円（税込み）で、40,300部作成しています。



リサイクル適性 (A)

たじみ議会だよりは環境に配慮した再生紙と植物油インキを使用しています。
この印刷物は、Aランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物を破棄するときは、燃やさないで、資源回収等に出しましょう。